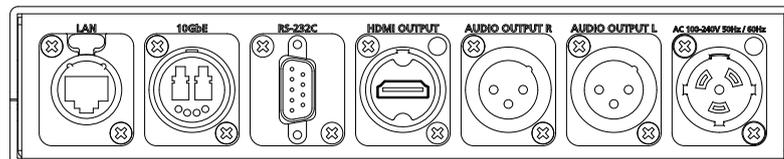
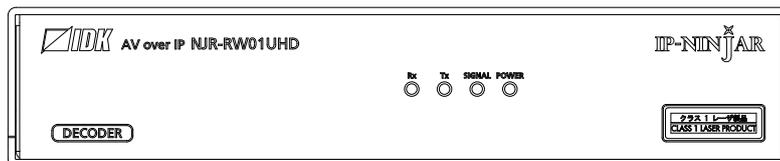
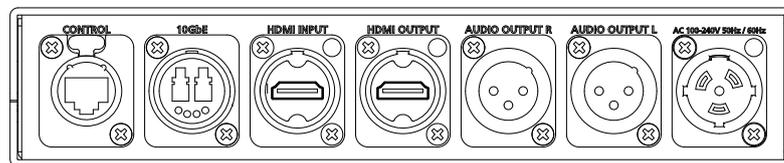
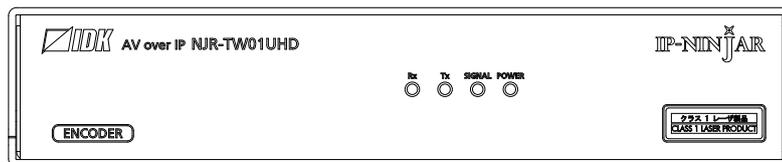


4K@60、HDCP 2.2 対応 HDMI AV over IP

NJR-TW01UHD / NJR-RW01UHD

<コマンドガイド>

取扱説明書 Ver.1.0.1



- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- コネクションリセットと IP-NINJAR (アイ・ピー・ニンジャー) は、株式会社アイ・ディ・ケイの登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図や通信コマンドなどが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.idk.co.jp/>

取扱説明書の分冊構成

この取扱説明書は、「ユーザズガイド」と「コマンドガイド (本書)」から構成され、分冊で提供しています。必要に応じて、各取扱説明書をお読みください。

なお、コマンドガイドについては、ホームページからの提供となります。

■ IP-NINJAR 製品の取扱説明書について

IP-NINJAR 製品の取扱説明書を取り揃えています。

詳細は、1章「本書の読み方」(P.5) をご参照ください。

目次

1	本書の読み方.....	5
2	本書の概要.....	6
3	通信の設定と仕様.....	7
3.1	RS-232C 通信.....	7
3.1.1	RS-232C コネクタ仕様.....	7
3.1.2	RS-232C 通信仕様.....	7
3.2	LAN 通信.....	8
3.2.1	LAN コネクタ仕様.....	8
3.2.2	LAN 通信仕様.....	9
3.3	IP-NINJAR Configurator からの外部制御.....	9
3.3.1	設定手順.....	9
3.4	NJR-CTB からの外部制御.....	11
4	コマンド.....	12
4.1	コマンド概要.....	12
4.2	コマンド一覧.....	13
4.3	コマンドの使用制限.....	15
4.4	パラメータの入力フォーマット.....	16
4.5	コマンド詳細.....	18
4.5.1	エラーステータス.....	18
4.5.2	基本設定.....	19
4.5.2.1	入力設定.....	19
4.5.2.2	出力設定.....	21
4.5.2.3	音声設定.....	24
4.5.2.4	EDID 設定.....	26
4.5.2.5	RS-232C 設定.....	32
4.5.2.6	LAN 設定.....	33
4.5.2.7	その他設定.....	35
4.5.2.8	インフォメーション.....	36

1 本書の読み方

本書は、IP-NINJAR 製品である 4K@60、HDCP2.2 対応 AV over IP の NJR-TW01UHD と NJR-RW01UHD を制御するコマンドについて説明した取扱説明書です。

NJR-TW01UHD は、RS-232C コネクタを搭載した RS-232C 対応モデルと、LAN コネクタを搭載した LAN 対応モデルあります。

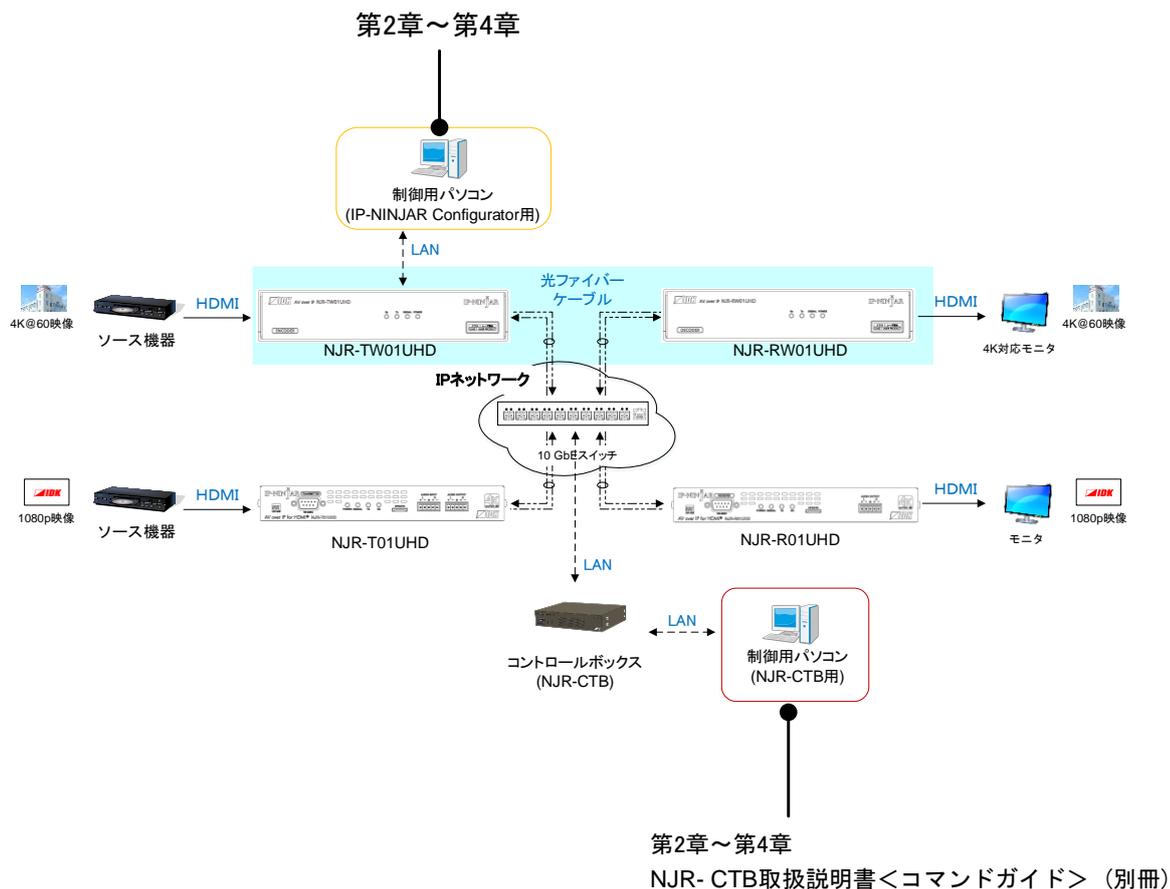
NJR-RW01UHD は、RS-232C コネクタと LAN コネクタが搭載されています。

これらの製品は LAN 通信を使って IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) または NJR-CTB (IP-NINJAR 専用コントロールボックス) からコマンド制御します。

なお、NJR-TW01UHD と NJR-RW01UHD は、RS-232C 通信によるコマンド制御には対応していません。RS-232C 通信は、コマンド伝送 (パススルー) で使用します。

NJR-TW01UHD (RS-232C 対応モデル) のコマンド制御は、NJR-RW01UHD を含む IP-NINJAR 製品、または 10 GbE スイッチを経由した他の IP-NINJAR 製品から行ってください。

本書以外の取扱説明書は、**[表 1.1] IP-NINJAR 製品のドキュメント一覧**をご参照ください。



[図 1.1] 本書の構成

[表 1.1] IP-NINJAR 製品のドキュメント一覧

製品型番	ユーザーズガイド	コマンドガイド
NJR-T01UHD / NJR-R01UHD	NJR-T01UHD / NJR-R01UHD 取扱説明書<ユーザーズガイド>	NJR-T01UHD / NJR-R01UHD 取扱説明書<コマンドガイド>
NJR-TW01UHD / NJR-RW01UHD	NJR-TW01UHD / NJR-RW01UHD 取扱説明書<ユーザーズガイド>	NJR-TW01UHD / NJR-RW01UHD 取扱説明書<コマンドガイド>
NJR-T01SDI	NJR-T01SDI 取扱説明書<ユーザーズガイド>	NJR-T01SDI 取扱説明書<コマンドガイド>
NJR-T04HD / NJR-R04HD	NJR-T04HD / NJR-R04HD 取扱説明書<ユーザーズガイド>	NJR-T04HD / NJR-R04HD 取扱説明書<コマンドガイド>
NJR-AB08DAN	NJR-AB08DAN 取扱説明書	
NJR-CTB	NJR- CTB 取扱説明書<ユーザーズガイド>	NJR- CTB 取扱説明書<コマンドガイド>
IP-NINJAR Configurator (無償提供)	IP-NINJAR Configurator 取扱説明書	

2 本書の概要

コマンドから制御できる主な機能は次のとおりです。

- ・ 入出力の設定
- ・ 音声の設定
- ・ EDID の設定
- ・ インフォメーションの表示など

3 通信の設定と仕様

3.1 RS-232C 通信

NJR-TW01UHD-(RS-232C 対応モデル) と NJR-RW01UHD は、RS-232C 通信を使用したコマンド伝送 (パススルー) ができます。

通信コマンドから RS-232C 通信に必要な設定を行ってください。

【4.5.2.5 RS-232C 設定 (P.32)】

3.1.1 RS-232C コネクタ仕様

RS-232C コネクタのピン配列は次のとおりです。



【図 3.1】RS-232C コネクタ仕様

3.1.2 RS-232C 通信仕様

RS-232C 通信仕様は次のとおりです。

【表 3.1】RS-232C 通信仕様

準拠規格	RS-232C
通信速度	9600 [bps]
データビット長	8 [bit]
パリティチェック	なし
ストップビット	1 [bit]
Xパラメータ	無効
フロー制御	なし
通信方式	全二重

3.2 LAN 通信

NJR-TW01UHD (LAN 対応モデル) と NJR-RW01UHD は、LAN 通信を使って IP-NINJAR Configurator または NJR-CTB から直接コマンドによる外部制御ができます。

LAN ケーブルを接続するときは、ループ障害が発生しないようご注意ください。

NJR-TW01UHD (LAN 対応モデル) と NJR-RW01UHD は、状態通知の目的で、定期的にブロードキャスト (一斉配信) でパケットを送信します。

既存のネットワークに接続する場合は、ブロードキャストストームなどに注意して、ブロードキャストトラフィックによるネットワークへの過負荷が生じることがないように、ネットワーク設定などを考慮してください。

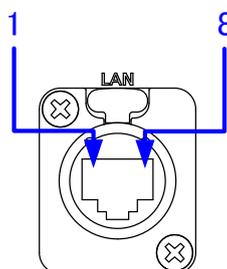
【参考】ブロードキャストストームとは、ブロードキャストパケットが帯域幅を使い切ってしまう、ネットワークがダウンする現象です。

【注意】ターミナルソフトは使用できません。

3.2.1 LAN コネクタ仕様

LAN コネクタのピン配列は次のとおりです。

ストレートケーブル / クロスケーブルの判別・切換を自動的に行なう Auto MDI / MDI-X に対応していますので、NJR-TW01UHD (LAN 対応モデル) または NJR-RW01UHD と、パソコンやハブなどとの接続のとき、意識せずに接続することが可能です。



ピン番号	信号名			
	MDI		MDI-X	
	1000BASE-T	100BASE-TX/10BASE-T	1000BASE-T	100BASE-TX/10BASE-T
1	TRX+ (送受信データ+)	TX+ (送信データ+)	TRX+ (送受信データ+)	RX+ (受信データ+)
2	TRX- (送受信データ-)	TX- (送信データ-)	TRX- (送受信データ-)	RX- (受信データ-)
3	TRX+ (送受信データ+)	RX+ (受信データ+)	TRX+ (送受信データ+)	TX+ (送信データ+)
4	TRX+ (送受信データ+)	N.C. (未使用)	TRX+ (送受信データ+)	N.C. (未使用)
5	TRX- (送受信データ-)	N.C. (未使用)	TRX- (送受信データ-)	N.C. (未使用)
6	TRX- (送受信データ-)	RX- (受信データ-)	TRX- (送受信データ-)	TX- (送信データ-)
7	TRX+ (送受信データ+)	N.C. (未使用)	TRX+ (送受信データ+)	N.C. (未使用)
8	TRX- (送受信データ-)	N.C. (未使用)	TRX- (送受信データ-)	N.C. (未使用)

※N.C. : No Connection

[図 3.2] LAN コネクタ仕様

3.2.2 LAN 通信仕様

LAN 通信仕様は次のとおりです。

[表 3.2] LAN 通信仕様

物理層	10Base-T (IEEE802.3i) / 100Base-TX (IEEE802.3u) / 1000Base-T (IEEE802.3ab)
ネットワーク層	ARP、IP、ICMP
トランスポート層	UDP

3.3 IP-NINJAR Configurator からの外部制御

NJR-TW01UHD と NJR-RW01UHD は IP-NINJAR Configurator からの外部制御が可能です。
パソコンなどの制御機器と NJR-TW01UHD (LAN 対応モデル) または NJR-RW01UHD を LAN ケーブルで接続し、IP-NINJAR Configurator から制御や状態の取得をしてください。

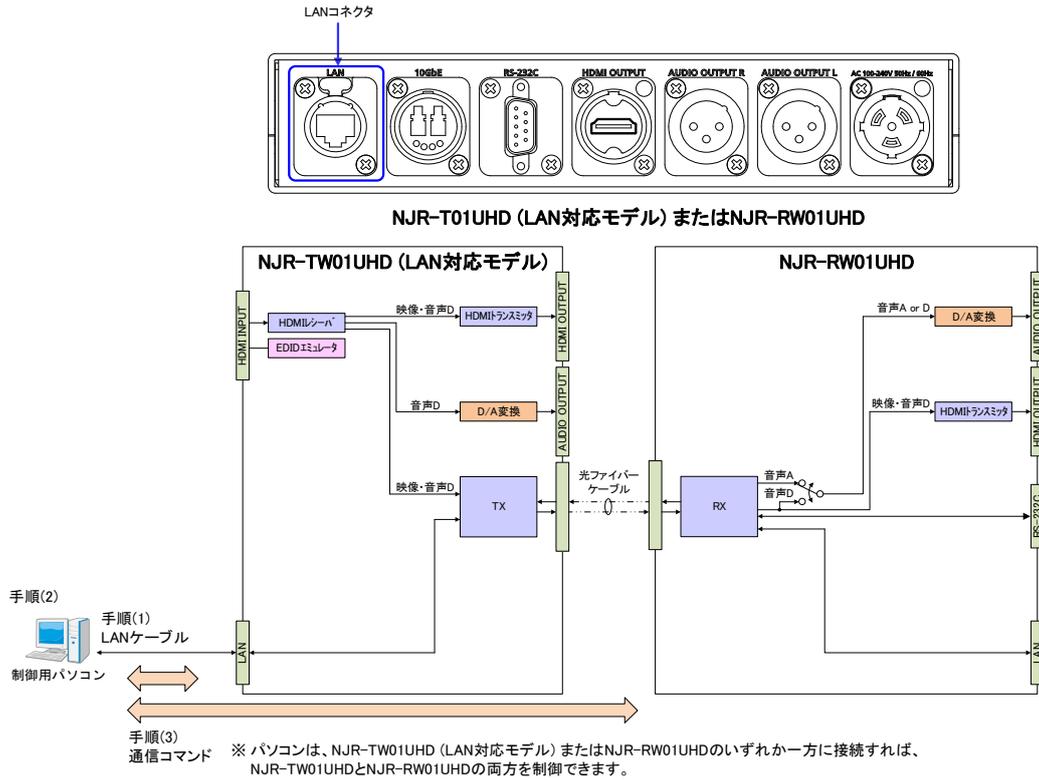
NJR-TW01UHD (RS-232C 対応モデル) を IP-NINJAR Configurator から制御するときは、NJR-RW01UHD を含む IP-NINJAR 製品、または 10 GbE スイッチを経由した他の IP-NINJAR 製品から行ってください。

IP-NINJAR Configurator からの操作は、別冊の「**IP-NINJAR Configurator 取扱説明書**」をご覧ください。
IP-NINJAR Configurator は弊社のホームページから無償でダウンロードすることができます。
<http://www.idk.co.jp/>

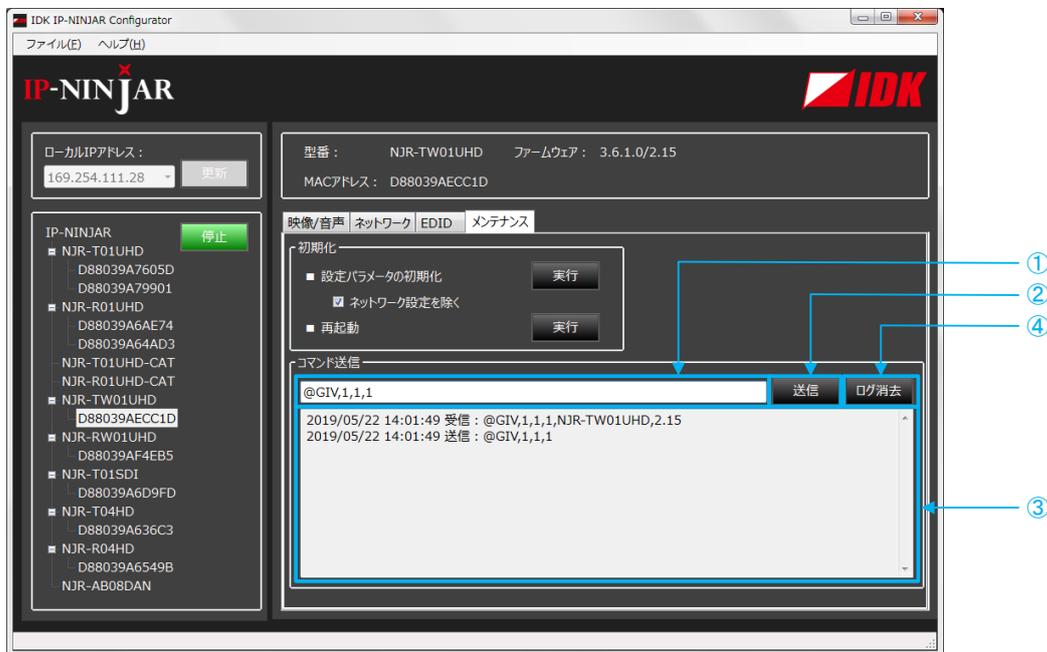
3.3.1 設定手順

制御機器から NJR-TW01UHD (LAN 対応モデル) または NJR-RW01UHD を制御する設定手順は次のとおりです。

- 手順(1) 制御機器と NJR-TW01UHD (LAN 対応モデル) または NJR-RW01UHD を LAN ケーブルで接続します。
- 手順(2) 制御機器から IP-NINJAR Configurator を起動します。
- 手順(3) IP-NINJAR Configurator のメンテナンス画面からコマンドを入力し、通信コマンドを送信します。通信コマンドを使うことで、NJR-TW01UHD (LAN 対応モデル) または NJR-RW01UHD の制御や状態の取得ができます。



[図 3.3] LAN 通信の設定手順



- ① 送信するコマンドを入力します。
- ② NJR-TW01UHDまたはNJR-RW01UHDにコマンドを送信します。
- ③ コマンド送受信のログを表示します。
- ④ コマンド送受信のログを消去します。

[図 3.4] メンテナンス画面からのコマンド入力

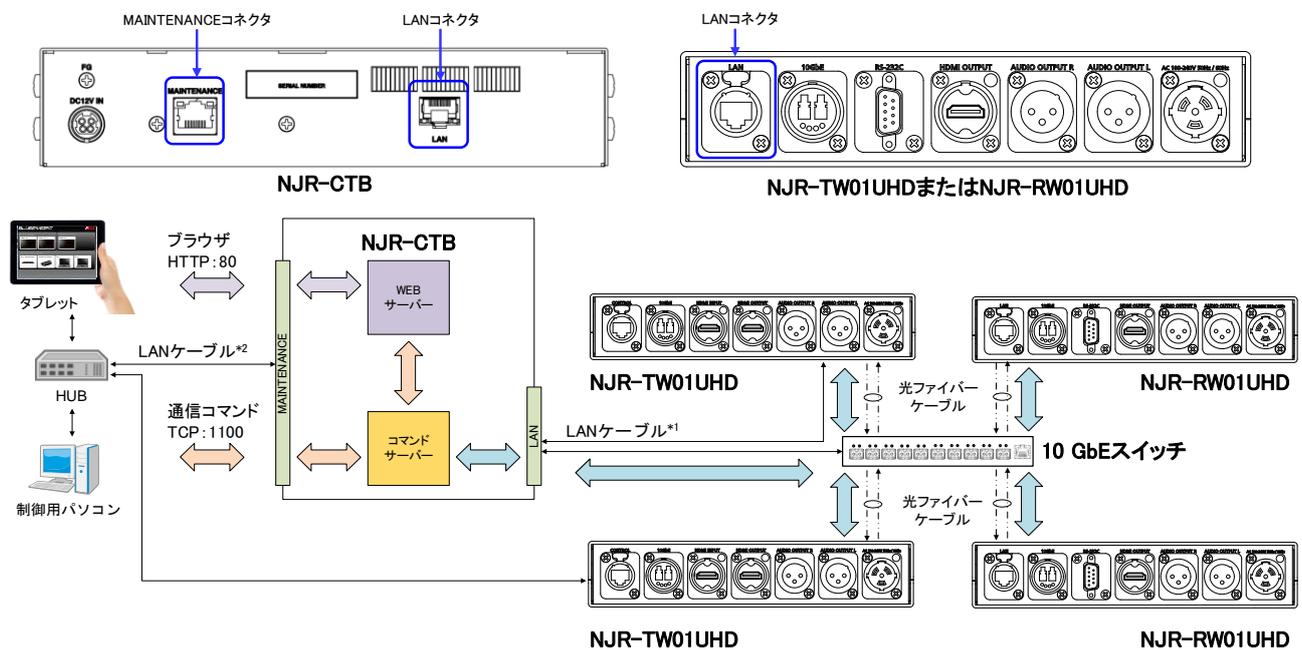
3.4 NJR-CTB からの外部制御

NJR-TW01UHD と NJR-RW01UHD は NJR-CTB からの外部制御が可能です。

パソコンなどの制御機器と NJR-CTB を LAN ケーブルで接続し、通信コマンドを使って NJR-TW01UHD または NJR-RW01UHD の制御や状態の取得をしてください。

NJR-TW01UHD (RS-232C 対応モデル) を NJR-CTB から制御するときは、NJR-RW01UHD を含む IP-NINJAR 製品、または 10 GbE スイッチを経由した他の IP-NINJAR 製品から行ってください。

NJR-CTB からの外部制御については、別冊の「**NJR-CTB 取扱説明書 <コマンドガイド>**」をご覧ください。



※1 NJR-CTBのLANコネクタは、NJR-TW01UHD (LAN対応モデル) / NJR-R01UHDのLANコネクタまたは10 GbEスイッチのいずれかに接続します。

※2 制御用パソコンは、NJR-CTBのMAINTENANCEコネクタまたはNJR-T01UHD (LAN対応モデル) / NJR-R01UHDのLANコネクタのいずれかに接続します。

[図 3.5] NJR-CTB との接続

4 コマンド

4.1 コマンド概要

コマンドは各コマンドを識別する@ (16進表記の40) の後に3文字または4文字の半角英字 (大文字、小文字) と、それに続くパラメータ (半角数字) からなります。(コマンドによっては複数のパラメータを指定可能なものがあります。)

コマンドの最後にデリミタを送信することにより処理を実行します。

例 : @SDT,1,1,1,10000 Ⓜ

「,」は、コマンドとパラメータおよびパラメータ間の区切り文字で、カンマ (16進表記の2C) を表します。

Ⓜは、デリミタ CR LF (復帰+改行, 16進表記の0D と 0A) を表します。

■ エラーがある場合

未定義のコマンドやパラメータに誤りがある場合はエラーコマンドを返します。

例 : @SDT,1 Ⓜ

@ERR,1 Ⓜ

■ HELP としての使い方

コマンドを指定せずにデリミタのみを送信すると、ヘルプコマンドとしてコマンドの一覧を返信します。

例 : Ⓜ

```
----- HELP (1/2) ----- Ⓜ
(INPUT SETTING Command) Ⓜ
@GDT / @SDT : Get/Set Digital Input Ⓜ
                    Signal Detect TimeⓂ
@GHE / @SHE : Get/Set HDCP Input EnableⓂ
Ⓜ
(OUTPUT SETTING Command) Ⓜ
@GDM / @SDM : Get/Set Digital Output ModeⓂ
Ⓜ
(AUDIO Command) Ⓜ
@GAM / @SAM : Get/Set Audio MuteⓂ
-----
```

4.2 コマンド一覧

■ エラーステータス

コマンド	機能	詳細ページ
@ERR	エラーステータス	18

■ 入力設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GDT / @SDT	映像信号の無入力監視時間	19
@GHE / @SHE	HDCP 入力の禁止 / 許可	20

■ 出力設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GDM / @SDM	出力モード	21
@GEN / @SEN	HDCP 出力	22
@GHM / @SHM	ホットプラグ オフ マスク	23

■ 音声設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GAM / @SAM	デジタル音声出力のミュート	24
@GAAS / @SAAS	出力音声	25

■ EDID 設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GVF / @SVF	EDID の解像度	26
@RME	EDID データのコピー	27
@GWX / @SWX	WXGA モード選択	27
@GDI / @SDI	Deep Color 入力	28
@GAF / @SAF	音声フォーマット	29
@GSP / @SSP	スピーカー構成	30

■ RS-232C 設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GCTB / @SCTB	RS-232C 通信設定	32

■ LAN 設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GIP / @SIP	LAN 設定	33
@GMC	MAC アドレス	34

■ その他設定

コマンド	機能	詳細ページ
@CLRC	設定の初期化	35
@RBTC	再起動	35

■ インフォメーション

コマンド	機能	詳細ページ
@GSS	入出力ステータス	36
@GES	モニタ EDID 情報	39
@GIV	バージョン情報	41

4.3 コマンドの使用制限

設定手段によって、一部のコマンドに制限があります。

[表 4.1] 設定手段に対するコマンドの制限

コマンド	設定手段	
	NJR-TW01UHD NJR-RW01UHD	NJR-CTB
	LAN (IP-NINJAR Configurator)	LAN
入力設定		
@GDT / @SDT	○	◎
@GHE / @SHE	○	◎
出力設定		
@GDM / @SDM	○	◎
@GEN / @SEN	○	◎
@GHM / @SHM	○	◎
音声設定		
@GAM / @SAM	○	◎
@GAAS / @SAAS	●	◎
EDID 設定		
@GVF / @SVF	○	◎
@RME	○	◎
@GWX / @SWX	○	◎
@GDI / @SDI	○	◎
@GAF / @SAF	○	◎
@GSP / @SSP	○	◎
RS-232C 設定		
@GCTB / @SCTB	●	◎
LAN 設定		
@GIP / @SIP	●	◎
@GMC	●	◎
その他設定		
@CLRC	●	◎
@RBTC	●	◎
インフォメーション		
@GSS	○	◎
@GES	○	◎
@GIV	○	◎

【記号】 ○ : コマンド入力に対応、● : GUI 操作に対応、◎ : WEB ブラウザとコマンド入力に対応、
× : 未対応

4.4 パラメータの入力フォーマット

各設定手段におけるパラメータの入力フォーマットは共通です。

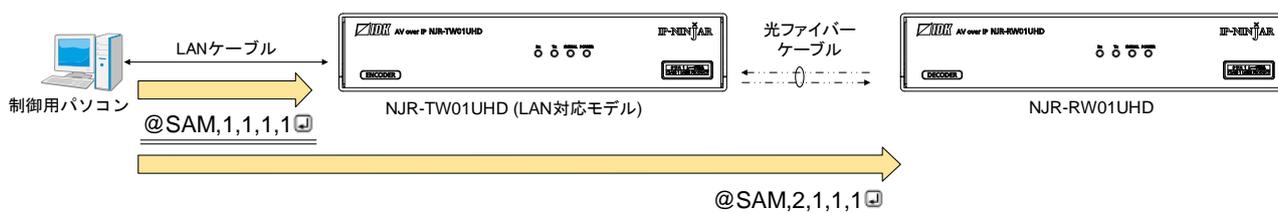
ただし、NJR-TW01UHD (LAN 対応モデル) または NJR-RW01UHD の LAN コネクタから IP-NINJAR Configurator を用いてコマンドを入力する場合は、1 台しか制御できないため、「チャンネル」の指定は“1”固定になります。

NJR-CTB からコマンドを入力する場合は、ネットワークスイッチを介して接続された複数の NJR-TW01UHD と NJR-RW01UHD を制御できるため、任意の「チャンネル」を指定します。

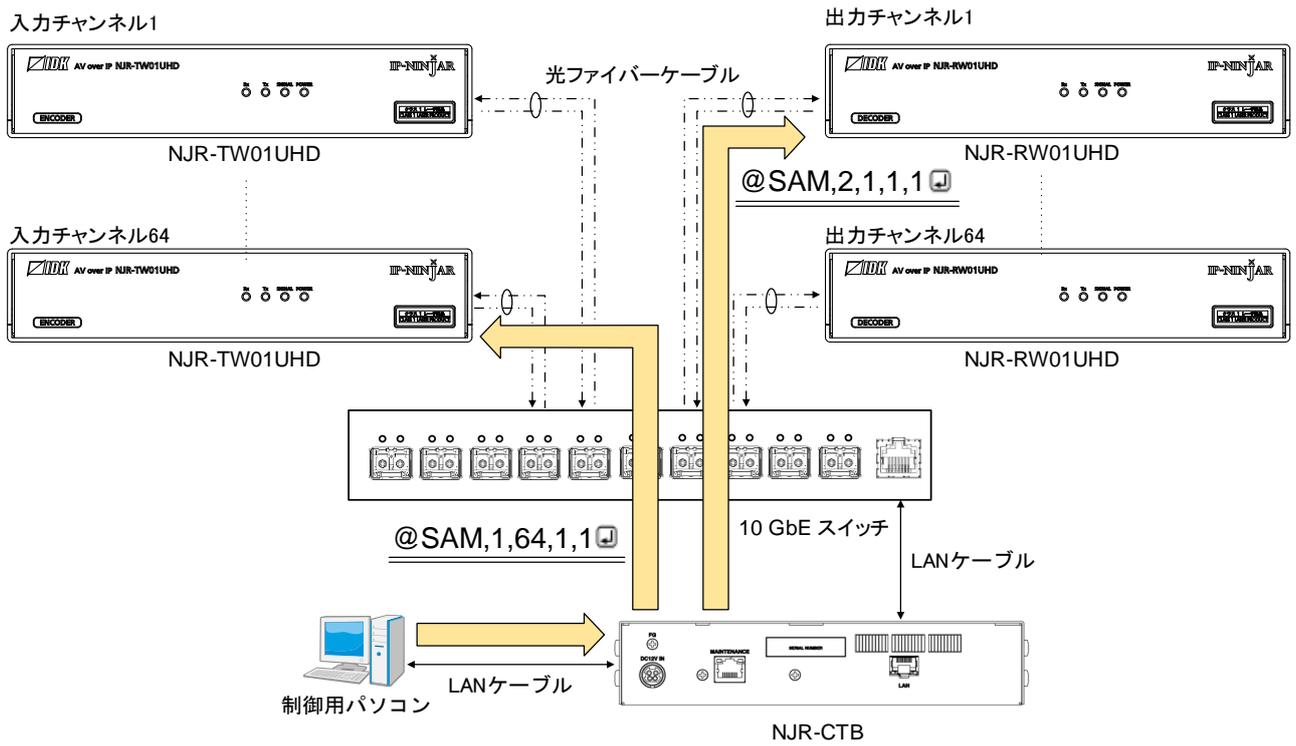
NJR-TW01UHD または NJR-RW01UHD を制御する場合、一部のコマンドを除き「コネクタ」の指定は“1”固定です。

例：デジタル音声出力のミュート設定コマンド

書式	@SAM, device, ch, port, mute <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-TW01UHD, 2 = NJR-RW01UHD
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 IP-NINJAR Configurator から NJR-TW01UHD (LAN 対応モデル) または NJR-RW01UHD へコマンドを入力する場合、“1”固定です。
	port : コネクタ “1”固定です。
	mute : 音声ミュート 0 = ミュート OFF ※初期値, 1 = ミュート ON



[図 4.1] IP-NINJAR Configurator からのコマンド入力



[図 4.2] NJR-CTB からのコマンド入力

4.5 コマンド詳細

4.5.1 エラーステータス

@ERR		エラーステータス
説明		コマンドが実行されないときの返信です。
返信		@ERR, error ↵
パラメータ		error : エラーステータス 1 = パラメータの書式、値にエラーがあります。 2 = 未定義のコマンドまたはコマンドの書式に誤りがあります。 3 = 現在使用できないコマンドです。 99 = その他のエラーがあります。
取得例	送信	@GAM ↵
	返信	@ERR,1 ↵
	説明	@GAM コマンド送信。 パラメータエラー。
備考		—

4.5.2 基本設定

4.5.2.1 入力設定

@GDT / @SDT		映像信号の無入力監視時間
取得	送信	@GDT, device, ch, port ↵
	返信	@GDT, device, ch, port, time ↵
設定	送信	@SDT, device, ch, port, time ↵
	返信	@SDT, device, ch, port, time ↵
パラメータ		device : 機種種別 “1” 固定です。 ch : 入力チャンネル 1 = 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 512 LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。 port : 入力コネクタ “1” 固定です。 time : 無入力監視時間 0 = OFF, 2000 = 2 秒 ~ 15000 = 15 秒 ※初期値 10000 = 10 秒 1 秒単位で設定し、下 3 桁に 0 以外を指定した場合は切り捨てられます。 (例えば 2955 と指定すると、2000 (2 秒) に設定されます)
取得例	送信	@GDT,1,1,1 ↵
	返信	@GDT,1,1,1,6000 ↵
	説明	チャンネル 1 の無入力監視時間を取得。 6000 ms (6 秒)。
設定例	送信	@SDT,1,1,1,6000 ↵
	返信	@SDT,1,1,1,6000 ↵
	説明	チャンネル 1 の無入力監視時間を 6000 ms (6 秒) に設定。 正常終了。
備考		NJR-RW01UHD では使用できないコマンドです。

@GHE / @SHE		HDCP 入力の禁止 / 許可
取得	送信	@GHE, device, ch, port <input type="checkbox"/>
	返信	@GHE, device, ch, port, hdcp <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SHE, device, ch, port, hdcp <input type="checkbox"/>
	返信	@SHE, device, ch, port, hdcp <input type="checkbox"/>
パラメータ		device : 機種種別 “1” 固定です。 ch : 入力チャンネル 1 = 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 512 LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。 port : 入力コネクタ “1” 固定です。 hdcp : HDCP 入力の許可 / 禁止 0 = DISABLE (禁止), 1 = ENABLE (許可) ※初期値
取得例	送信	@GHE,1,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GHE,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>
	説明	チャンネル 1 の HDCP 入力の許可 / 禁止設定を取得。 HDCP 入力を禁止する。
設定例	送信	@SHE,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SHE,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>
	説明	チャンネル 1 の HDCP 入力を禁止。 正常終了。
備考		NJR-RW01UHD では使用できないコマンドです。

4.5.2.2 出力設定

@GDM / @SDM		出力モード
取得	送信	@GDM, device, ch, reserved ↵
	返信	@GDM, device, ch, reserved, mode_1 (, mode_2) ↵
設定	送信	@SDM, device, ch, port, mode ↵
	返信	@SDM, device, ch, port, mode ↵
パラメータ		device : 機種種別 1 = NJR-TW01UHD, 2 = NJR-RW01UHD ch : チャンネル 1 = チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 512 LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。 reserved : 予約 “1” 固定です。 port : 出力コネクタ NJR-TW01UHD の場合 : 0 = 全出力, 1 = 延長用出力コネクタ, 2 = HDMI 出力コネクタ NJR-RW01UHD の場合 : 1 = HDMI 出力コネクタ mode_1 ~ mode_2, mode : 出力モード 0 = AUTO ※初期値, 1 = DVI 出力, 2 = RGB 出力, 3 = YCbCr4:2:2 出力, 4 = YCbCr4:4:4 出力, 5 = YCbCr4:2:0 出力 NJR-TW01UHD の場合 : mode_1 = 延長用出力コネクタ, mode_2 = HDMI 出力コネクタ NJR-RW01UHD の場合 : mode_1 = HDMI 出力コネクタ
取得例	送信	@GDM,1,1,1 ↵
	返信	@GDM,1,1,1,0,4 ↵
	説明	NJR-TW01UHD のチャンネル 1 の出力モードを取得。 延長用出力コネクタは AUTO、HDMI 出力コネクタは YCbCr4:4:4 出力。
取得例	送信	@GDM,2,1,1 ↵
	返信	@GDM,2,1,1,0 ↵
	説明	NJR-RW01UHD のチャンネル 1 の出力モードを取得。 AUTO。
設定例	送信	@SDM,1,1,2,4 ↵
	返信	@SDM,1,1,2,4 ↵
	説明	NJR-TW01UHD のチャンネル 1 の HDMI 出力コネクタの出力モードを YCbCr4:4:4 出力に設定。 正常終了。
備考		—

@GEN / @SEN		HDCP 出力
取得	送信	@GEN, device, ch, reserved ↵
	返信	@GEN, device, ch, reserved, hdcp ↵
設定	送信	@SEN, device, ch, port, hdcp ↵
	返信	@SEN, device, ch, port, hdcp ↵
パラメータ		device : 機種種別 “2” 固定です。 ch : チャンネル 1 = チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 512 LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。 reserved : 予約 “1” 固定です。 port : 出力コネクタ “1” 固定です。 hdcp : HDCP 出力 1 = ALWAYS ※初期値, 2 = HDCP INPUT ONLY, 3 = HDCP 2.2
取得例	送信	@GEN,2,1,1 ↵
	返信	@GEN,2,1,1,1 ↵
	説明	NJR-RW01UHD のチャンネル 1 の HDCP 出力を取得。 ALWAYS。
設定例	送信	@SEN,2,1,1,2 ↵
	返信	@SEN,2,1,1,2 ↵
	説明	NJR-RW01UHD のチャンネル 1 の HDCP 出力を HDCP INPUT ONLY に設定。 正常終了。
備考		NJR-TW01UHD では使用できないコマンドです。

@GHM / @SHM		ホットプラグ オフ マスク
取得	送信	@GHM, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>
	返信	@GHM, device, ch, reserved, time <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SHM, device, ch, port, time <input type="checkbox"/>
	返信	@SHM, device, ch, port, time <input type="checkbox"/>
パラメータ		device : 機種種別 1 = NJR-TW01UHD, 2 = NJR-RW01UHD ch : チャンネル 1 = チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 512 LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。 reserved : 予約 “1” 固定です。 port : 出力コネクタ NJR-TW01UHD の場合 : “2” 固定です。 NJR-RW01UHD の場合 : “1” 固定です。 time : マスク時間 0 = OFF (マスク処理なし) ※初期値, 2000 = 2 秒 ~ 15000 = 15 秒 1 秒単位で設定し、下 3 桁に 0 以外を指定した場合は切り捨てられます。 (例えば 2955 と指定すると、2000 (2 秒) に設定されます)
取得例	送信	@GHM,1,1,2 <input type="checkbox"/>
	返信	@GHM,1,1,2,0 <input type="checkbox"/>
	説明	NJR-TW01UHD のチャンネル 1 のホットプラグ オフ マスクを取得。 OFF (マスク処理なし)。
取得例	送信	@GHM,2,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GHM,2,1,1,2000 <input type="checkbox"/>
	説明	NJR-RW01UHD のチャンネル 1 のホットプラグ オフ マスクを取得。 マスク時間 2 秒。
設定例	送信	@SHM,2,1,1,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SHM,2,1,1,0 <input type="checkbox"/>
	説明	NJR-RW01UHD のチャンネル 1 のホットプラグ オフ マスクをに OFF に設定。 正常終了。
備考		—

4.5.2.3 音声設定

@GAM / @SAM		デジタル音声出力のミュート
取得	送信	@GAM, device, ch, port ↵
	返信	@GAM, device, ch, port, mute ↵
設定	送信	@SAM, device, ch, port, mute ↵
	返信	@SAM, device, ch, port, mute ↵
パラメータ		device : 機種種別 1 = NJR-TW01UHD, 2 = NJR-RW01UHD ch : チャンネル 1 = チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 512 LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。 port : コネクタ “1” 固定です。 mute : 音声ミュート 0 = ミュート OFF ※初期値, 1 = ミュート ON
取得例	送信	@GAM,1,1,1 ↵
	返信	@GAM,1,1,1,0 ↵
	説明	NJR-TW01UHD のチャンネル 1 の音声ミュートを取得。 ミュート OFF。
設定例	送信	@SAM,1,1,1,0 ↵
	返信	@SAM,1,1,1,0 ↵
	説明	NJR-TW01UHD のチャンネル 1 の音声ミュートを OFF に設定。 正常終了。
備考		—

@GAAS / @SAAS		出力音声
取得	送信	@GAAS, device, ch, reserved ☑
	返信	@GAAS, device, ch, reserved, analog, digital ☑
設定	送信	@SAAS, device, ch, reserved, analog, digital ☑
	返信	@SAAS, device, ch, reserved, analog, digital ☑
パラメータ		device : 機種種別 “2” 固定です。 ch : チャンネル 1 = チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 512 reserved : 予約 “1” 固定です。 analog : アナログ音声出力コネクタ 0 = アナログ入力音声 ※初期値, 1 = デジタル入力音声 digital : デジタル音声出力コネクタ 0 = アナログ入力音声, 1 = デジタル入力音声 ※初期値
取得例	送信	@GAAS,2,1,1 ☑
	返信	@GAAS,2,1,1,0,1 ☑
	説明	チャンネル 1 の出力音声を取得。 アナログ音声出力コネクタからはアナログ入力音声を出力。
設定例	送信	@SAAS,2,1,1,0,1 ☑
	返信	@SAAS,2,1,1,0,1 ☑
	説明	チャンネル 1 のアナログ音声出力コネクタからはアナログ入力音声を出力する。 正常終了。
備考		NJR-TW01UHD では使用できないコマンドです。 NJR-CTB のコマンドサーバー経由でのみ入力できるコマンドです。

4.5.2.4 EDID 設定

@GVF / @SVF		EDID の解像度
取得	送信	@GVF, device, ch, port ↵
	返信	@GVF, device, ch, port, resolution ↵
設定	送信	@SVF, device, ch, port, resolution ↵
	返信	@SVF, device, ch, port, resolution ↵
パラメータ		device : 機種種別 “1” 固定です。 ch : 入力チャンネル 1 = 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 512 LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。 port : 入力コネクタ “1” 固定です。 resolution : EDID の解像度 1 = コピーEDID1, 5 = 1080p@50 / 59.94 / 60 (1920x1080), 6 = 720p@50 / 59.94 / 60 (1280x720), 7 = 1080i@50 / 59.94 / 60 (1920x1080), 10 = SVGA (800x600), 11 = XGA (1024x768), 12 = VESA720 (1280x720), 13 = WXGA (1280x768), 14 = WXGA (1280x800), 15 = Quad-VGA (1280x960), 16 = SXGA (1280x1024), 17 = WXGA (1360x768/1366x768), 18 = SXGA+ (1400x1050), 19 = WXGA+ (1440x900), 20 = WXGA++ (1600x900), 21 = UXGA (1600x1200), 22 = WSXGA+ (1680x1050), 23 = VESA1080 (1920x1080), 24 = WUXGA (1920x1200), 25 = QWXGA (2048x1152), 26 = WQHD (2560x1440), 27 = WQXGA (2560x1600), 43 = 2160p@50 / 59.94 / 60 - 4:2:0 (3840x2160), 44 = 4096x2160@50 / 59.94 / 60 - 4:2:0, 45 = 2160p@50 / 59.94 / 60 - 4:4:4 (3840x2160) ※初期値, 46 = 4096x2160@50 / 59.94 / 60 - 4:4:4
取得例	送信	@GVF,1,1,1 ↵
	返信	@GVF,1,1,1,24 ↵
	説明	チャンネル 1 の EDID の解像度を取得。 WUXGA。
設定例	送信	@SVF,1,1,1,24 ↵
	返信	@SVF,1,1,1,24 ↵
	説明	チャンネル 1 の EDID の解像度を WUXGA に設定。 正常終了。
備考		NJR-RW01UHD では使用できないコマンドです。 1360x768 と 1366x768 の EDID は@GWX / @SWX WXGA モード選択(P. 27) で選択します。

@RME		EDID データのコピー
設定	送信	@RME, device, ch, reserved, number ↵
	返信	@RME, device, ch, reserved, number ↵
パラメータ		device : 機種種別 “1” 固定です。 ch : 入力チャンネル 1 = 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 512 LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。 reserved : 予約 “1” 固定です。 number : コピーデータの保存先メモリ番号 “0” 固定です。
設定例	送信	@RME,1,1,1,0 ↵
	返信	@RME,1,1,1,0 ↵
	説明	NJR-TW01UHD の HDMI 出力コネクタに接続されているシンク機器の EDID をコピー。 正常終了。
備考		NJR-RW01UHD では使用できないコマンドです。

@GWX / @SWX		WXGA モード選択
取得	送信	@GWX, device, ch, port ↵
	返信	@GWX, device, ch, port, mode ↵
設定	送信	@SWX, device, ch, port, mode ↵
	返信	@SWX, device, ch, port, mode ↵
パラメータ		device : 機種種別 “1” 固定です。 ch : 入力チャンネル 1 = 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 512 LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。 port : 入力コネクタ “1” 固定です。 mode : WXGA モード選択 0 = 1360x768 ※初期値, 1 = 1366x768
取得例	送信	@GWX,1,1,1 ↵
	返信	@GWX,1,1,1,0 ↵
	説明	チャンネル 1 の WXGA モードを取得。 1360x768。
設定例	送信	@SWX,1,1,1,0 ↵
	返信	@SWX,1,1,1,0 ↵
	説明	チャンネル 1 の WXGA モードを 1360x768 に設定。 正常終了。
備考		NJR-RW01UHD では使用できないコマンドです。

@GDI / @SDI		Deep Color 入力
取得	送信	@GDI, device, ch, port <input type="button" value="↵"/>
	返信	@GDI, device, ch, port, color <input type="button" value="↵"/>
設定	送信	@SDI, device, ch, port, color <input type="button" value="↵"/>
	返信	@SDI, device, ch, port, color <input type="button" value="↵"/>
パラメータ		device : 機種種別 “1” 固定です。 ch : 入力チャンネル 1 = 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 512 LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。 port : 入力コネクタ “1” 固定です。 color : 色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR, 2 = 36-BIT COLOR
取得例	送信	@GDI,1,1,1 <input type="button" value="↵"/>
	返信	@GDI,1,1,1,0 <input type="button" value="↵"/>
	説明	チャンネル 1 の色深度を取得。 24-BIT COLOR。
設定例	送信	@SDI,1,1,1,0 <input type="button" value="↵"/>
	返信	@SDI,1,1,1,0 <input type="button" value="↵"/>
	説明	チャンネル 1 の色深度を 24-BIT COLOR に設定。 正常終了。
備考		NJR-RW01UHD では使用できないコマンドです。

@GAF / @SAF		音声フォーマット																
取得	送信	@GAF, device, ch, port <input type="checkbox"/>																
	返信	@GAF, device, ch, port, format_1, frequency_1 (, format_2, frequency_2...) <input type="checkbox"/>																
設定	送信	@SAF, device, ch, port, format_1, frequency_1 (, format_2, frequency_2...) <input type="checkbox"/>																
	返信	@SAF, device, ch, port, format_1, frequency_1 (, format_2, frequency_2...) <input type="checkbox"/>																
パラメータ		<p>device : 機種種別 “1” 固定です。</p> <p>ch : 入力チャンネル 1 = 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 512 LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。</p> <p>port : 入力コネクタ “1” 固定です。</p> <p>format_1 ~ format_7 : 音声フォーマット 0 = PCM, 1 = Dolby Digital, 2 = AAC, 3 = Dolby Digital+, 4 = DTS, 5 = DTS-HD, 6 = Dolby TrueHD ※初期値 PCM のみ出力許可</p> <p>frequency_1 ~ frequency_7 : 最大サンプリング周波数 0 = OFF, 1 = 32 kHz, 2 = 44.1 kHz, 3 = 48 kHz, 4 = 88.2 kHz, 5 = 96 kHz, 6 = 176.4 kHz, 7 = 192 kHz ※初期値 PCM は 48 kHz、それ以外は OFF “OFF” は設定コマンドのみ指定することができます。 指定可能な最大サンプリング周波数は、音声フォーマットにより異なります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>音声フォーマット</th> <th>最大サンプリング周波数 (kHz)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCM</td> <td>32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192</td> </tr> <tr> <td>Dolby Digital</td> <td>OFF / 32 / 44.1 / 48</td> </tr> <tr> <td>AAC</td> <td>OFF / 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96</td> </tr> <tr> <td>Dolby Digital+</td> <td>OFF / 32 / 44.1 / 48</td> </tr> <tr> <td>DTS</td> <td>OFF / 32 / 44.1 / 48 / 96</td> </tr> <tr> <td>DTS-HD</td> <td>OFF / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192</td> </tr> <tr> <td>Dolby TrueHD</td> <td>OFF / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192</td> </tr> </tbody> </table> <p>取得コマンドの場合、出力が許可されている音声フォーマットと最大サンプリング周波数を返信します。 設定コマンドの場合、出力を許可する音声フォーマットと最大サンプリング周波数を指定します。</p>	音声フォーマット	最大サンプリング周波数 (kHz)	PCM	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192	Dolby Digital	OFF / 32 / 44.1 / 48	AAC	OFF / 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96	Dolby Digital+	OFF / 32 / 44.1 / 48	DTS	OFF / 32 / 44.1 / 48 / 96	DTS-HD	OFF / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192	Dolby TrueHD	OFF / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192
音声フォーマット	最大サンプリング周波数 (kHz)																	
PCM	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192																	
Dolby Digital	OFF / 32 / 44.1 / 48																	
AAC	OFF / 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96																	
Dolby Digital+	OFF / 32 / 44.1 / 48																	
DTS	OFF / 32 / 44.1 / 48 / 96																	
DTS-HD	OFF / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192																	
Dolby TrueHD	OFF / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192																	
取得例	送信	@GAF,1,1,1 <input type="checkbox"/>																
	返信	@GAF,1,1,1,0,7 <input type="checkbox"/>																
	説明	チャンネル 1 に出力許可されている音声フォーマットを取得。 PCM の 192 kHz までの音声出力が許可されている。																
設定例	送信	@SAF,1,1,1,4,3 <input type="checkbox"/>																
	返信	@SAF,1,1,1,4,3 <input type="checkbox"/>																
	説明	チャンネル 1 に PCM および DTS の 48 kHz までの音声を出力許可。 (PCM の最大サンプリング周波数は変更されません) 正常終了。																
備考		NJR-RW01UHD では使用できないコマンドです。																

@GSP / @SSP		スピーカー構成																																																																																																																															
取得	送信	@GSP, device, ch, port <input type="checkbox"/>																																																																																																																															
	返信	@GSP, device, ch, port, number, speaker_1 (, speaker_2...) <input type="checkbox"/>																																																																																																																															
設定	送信	@SSP, device, ch, port, number (, speaker_1, speaker_2...) <input type="checkbox"/>																																																																																																																															
	返信	@SSP, device, ch, port, number (, speaker_1, speaker_2...) <input type="checkbox"/>																																																																																																																															
パラメータ	device : 機種種別 “1” 固定です。																																																																																																																																
	ch : 入力チャンネル 1 = 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 512 LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。																																																																																																																																
	port : 入力コネクタ “1” 固定です。																																																																																																																																
	number : スピーカー数 1 ~ 8 ※初期値 2																																																																																																																																
	speaker_1 ~ speaker_8 : 使用するスピーカー 0 = Front Left / Right ※初期値, 1 = Low Frequency Effect, 2 = Front Center, 3 = Rear Left / Right, 4 = Rear Center, 5 = Front Left / Right Center, 6 = Rear Left / Right Center, 7 = Front Left / Right Wide, 8 = Front Left / Right High, 9 = Top Center, 10 = Front Center High																																																																																																																																
取得コマンドの場合、スピーカー数と使用するスピーカーを返信します。 設定コマンドの場合、使用するスピーカーを省略すると、スピーカー数の設定に応じて以下のように設定されます。																																																																																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">number</th> <th colspan="11">speaker</th> </tr> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>			number	speaker											0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	OFF	OFF	ON	OFF	2	ON	OFF	3	ON	ON	OFF	4	ON	ON	ON	OFF	5	ON	ON	OFF	ON	OFF	6	ON	ON	ON	ON	OFF	7	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	8	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																							
number	speaker																																																																																																																																
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																																																																						
1	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																																					
2	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																																					
3	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																																					
4	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																																					
5	ON	ON	OFF	ON	OFF																																																																																																																												
6	ON	ON	ON	ON	OFF																																																																																																																												
7	ON	ON	ON	ON	ON	OFF																																																																																																																											
8	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																																					
使用するスピーカーを指定したときに、スピーカー数と使用するスピーカーの合計が一致しない場合は、使用するスピーカーから自動的にスピーカー数を設定します。万一、スピーカー数が設定可能な範囲を超えている場合はエラーになります。																																																																																																																																	

@GSP / @SSP		スピーカー数 (つづき)
取得例	送信	@GSP,1,1,1 ⓧ
	返信	@GSP,1,1,1,6,0,1,2,3 ⓧ
	説明	チャンネル 1 のスピーカー構成を取得。 Front Left / Right, Low Frequency Effect, Front Center, Rear Left / Right の 6 個のスピーカーを使用している。
設定例	送信	@SSP,1,1,1,8 ⓧ
	返信	@SSP,1,1,1,8 ⓧ
	説明	チャンネル 1 のスピーカー構成を Front Left / Right, Low Frequency Effect, Front Center, Rear Left / Right, Rear Left / Right Center の 8 個に設定。 正常終了。
設定例	送信	@SSP,1,1,1,8,0,3,5,6,7 ⓧ
	返信	@ERR,1 ⓧ
	説明	チャンネル 1 のスピーカー構成を Front Left / Right, Rear Left / Right, Front Left / Right Center, Rear Left / Right Center, Front Left / Right Wide に設定。 スピーカー数の合計が 10 個になり、設定可能な数を超過している。
備考		NJR-RW01UHD では使用できないコマンドです。

4.5.2.5 RS-232C 設定

@GCTB / @SCTB		RS-232C 通信設定
取得	送信	@GCTB, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>
	返信	@GCTB, device, ch, reserved, baudrate, databit, stopbit, parity <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SCTB, device, ch, reserved, baudrate, databit, stopbit, parity <input type="checkbox"/>
	返信	@SCTB, device, ch, reserved, baudrate, databit, stopbit, parity <input type="checkbox"/>
パラメータ		device : 機種種別 1 = NJR-TW01UHD (RS-232C 対応モデル), 2 = NJR-RW01UHD ch : チャンネル 1 = チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 512 reserved : 予約 “1” 固定です。 baudrate : 通信速度 0 = 4800 bps, 1 = 9600 bps ※初期値, 2 = 19200 bps, 3 = 38400 bps, 4 = 57600 bps, 5 = 115200 bps databit : データビット長 7 = 7 bit, 8 = 8 bit ※初期値 stopbit : ストップビット 1 = 1 bit ※初期値, 2 = 2 bit parity : パリティチェック 0 = NONE (なし) ※初期値, 1 = ODD (奇数), 2 = EVEN (偶数)
取得例	送信	@GCTB,1,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GCTB,1,1,1,4,8,1,0 <input type="checkbox"/>
	説明	NJR-TW01UHD (RS-232C 対応モデル) のチャンネル 1 の RS-232C 通信設定を取得。 <ul style="list-style-type: none"> ・通信速度 : 57600 bps ・データビット長 : 8 bit ・ストップビット : 1 bit ・パリティチェック : NONE (なし)
設定例	送信	@SCTB,1,1,1,4,8,1,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SCTB,1,1,1,4,8,1,0 <input type="checkbox"/>
	説明	NJR-TW01UHD (RS-232C 対応モデル) のチャンネル 1 の RS-232C 通信設定を以下のように設定。 <ul style="list-style-type: none"> ・通信速度 : 57600 bps ・データビット長 : 8 bit ・ストップビット : 1 bit ・パリティチェック : NONE (なし) 正常終了。
備考		NJR-CTB のコマンドサーバー経由でのみ入力できるコマンドです。 NJR-TW01UHD (RS-232C 対応モデル) と NJR-RW01UHD を制御するモードの RS-232C 通信設定は変更できません。

4.5.2.6 LAN 設定

@GIP / @SIP		LAN 設定
取得	送信	@GIP, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>
	返信	@GIP, device, ch, reserved, mode, ip, mask, gateway <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SIP, device, ch, reserved, mode, ip, mask, gateway <input type="checkbox"/>
	返信	@SIP, device, ch, reserved, mode, ip, mask, gateway <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>device : 機種種別 1 = NJR-TW01UHD (LAN 対応モデル), 2 = NJR-RW01UHD</p> <p>ch : チャンネル 1 = チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 512</p> <p>reserved : 予約 "1" 固定です。</p> <p>mode : モード 0 = 自動 (DHCP) ※初期値, 1 = 固定 設定コマンドで "自動 (DHCP)" に設定した場合、以降のパラメータは無効になります。</p> <p>ip : IP アドレス 0 ~ 255 = 8 ビット (10 進数表記) × 4 組 ※初期値 自動取得</p> <p>mask : サブネットマスク 0 ~ 255 = 8 ビット (10 進数表記) × 4 組 ※初期値 自動取得</p> <p>gateway : デフォルトゲートウェイ 0 ~ 255 = 8 ビット (10 進数表記) × 4 組 ※初期値 自動取得</p>
取得例	送信	@GIP,1,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GIP,1,1,1,1,192.168.3.2,255.255.255.0,192.168.3.254 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>NJR-TW01UHD (LAN 対応モデル) のチャンネル 1 の LAN 設定を取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モード : 固定 ・IP アドレス : 192.168.3.2 ・サブネットマスク : 255.255.255.0 ・デフォルトゲートウェイ : 192.168.3.254
設定例	送信	@SIP,1,1,1,1,192.168.3.2,255.255.255.0,192.168.3.254 <input type="checkbox"/>
	返信	@SIP,1,1,1,1,192.168.3.2,255.255.255.0,192.168.3.254 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>NJR-TW01UHD (LAN 対応モデル) のチャンネル 1 の LAN 設定を以下のように設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モード : 固定 ・IP アドレス : 192.168.3.2 ・サブネットマスク : 255.255.255.0 ・デフォルトゲートウェイ : 192.168.3.254 <p>正常終了。</p>
備考		<p>NJR-CTB のコマンドサーバー経由でのみ入力できるコマンドです。</p> <p>LAN 通信設定が変更された場合、以後通信不可となる場合があります。</p> <p>NJR-TW01UHD (LAN 対応モデル) と NJR-RW01UHD に合わせ、環境の設定変更を行ってください。</p>

@GMC		MAC アドレス
取得	送信	@GMC, device, ch, reserved [⏏]
	返信	@GMC, device, ch, reserved, mac [⏏]
パラメータ		device : 機種種別 1 = NJR-TW01UHD (LAN 対応モデル), 2 = NJR-RW01UHD
		ch : チャンネル 1 = チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 512
		reserved : 予約 “1” 固定です。
		mac : MAC アドレス 00 ~ FF = 8 ビット (16 進数表記) × 6 組
取得例	送信	@GMC,1,1,1 [⏏]
	返信	@GMC,1,1,1,D88039A6D9DF [⏏]
	説明	NJR-TW01UHD (LAN 対応モデル) のチャンネル 1 の MAC アドレスを取得。 D8:80:39:A6:D9:DF。
備考		NJR-CTB のコマンドサーバー経由でのみ入力できるコマンドです。

4.5.2.7 その他設定

@CLRC		設定の初期化
設定	送信	@CLRC, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>
	返信	@CLRC, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-TW01UHD (LAN 対応モデル), 2 = NJR-RW01UHD	
	ch : チャンネル 0 = 全チャンネル, 1 = チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 512	
	reserved : 予約 "1" 固定です。	
設定例	送信	@CLRC,1,2,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@CLRC,1,2,1 <input type="checkbox"/>
	説明	NJR-TW01UHD のチャンネル 2 の設定を工場出荷設定に初期化。 正常終了。
備考		NJR-CTB のコマンドサーバー経由でのみ入力できるコマンドです。 4.5.2.1 入力設定 (P.19) ~ 4.5.2.6 LAN 設定 (P.33) の各設定が初期化されます。

@RBTC		再起動
設定	送信	@RBTC, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>
	返信	@RBTC, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-TW01UHD, 2 = NJR-RW01UHD	
	ch : チャンネル 0 = 全チャンネル, 1 = チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 512	
	reserved : 予約 "1" 固定です。	
設定例	送信	@RBTC,1,2,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@RBTC,1,2,1 <input type="checkbox"/>
	説明	NJR-TW01UHD のチャンネル 2 を再起動。 正常終了。
備考		NJR-CTB のコマンドサーバー経由でのみ入力できるコマンドです。

4.5.2.8 インフォメーション

@GSS		入出力ステータス																
取得	送信	@GSS, device, ch, port, mode <input type="checkbox"/>																
	返信	@GSS, device, ch, port, mode, status_1 (, status_2, status_3...) <input type="checkbox"/>																
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-TW01UHD, 2 = NJR-RW01UHD																	
	ch : チャンネル 1 = チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 512 LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。																	
	port : 入力コネクタ / 出力コネクタ “1” 固定です。																	
	mode : 取得するステータス NJR-TW01UHD の HDMI 入力コネクタの場合 : 0 = 1 ~ 4 のすべて, 1 = 入力信号の種類 ^{※1} , 2 = 映像入力信号のフォーマット ^{※2} , 3 = 音声入力信号のフォーマット ^{※3} , 4 = HDCP 入力の有無 ^{※4} NJR-TW01UHD / NJR-RW01UHD の HDMI 出力コネクタの場合 : 10 = 11 ~ 13 のすべて, 11 = HDCP の認証状態 ^{※5} , 12 = 出力信号の種類 ^{※6} , 13 = エラーコード ^{※7}																	
	status_1 ~ status_4 : ステータス																	
<p>※1 入力信号の種類は以下のいずれかを返信します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信</th> <th>入力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Hxx</td> <td>HDMI 信号が入力されています。xx は色深度で 24、30、36 のいずれかになります。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>DVI 信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>N</td> <td>信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2 映像入力信号のフォーマットは以下のように返信します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>映像入力信号のフォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1920 x 1080i 59.94Hz</td> <td>SDTV / HDTV / UHDTV 信号が入力されおり、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>800 x 600p 60.00Hz</td> <td>VESA 系解像度の信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table>			返信	入力信号の種類	Hxx	HDMI 信号が入力されています。xx は色深度で 24、30、36 のいずれかになります。	D	DVI 信号が入力されています。	N	信号が入力されていません。	返信例	映像入力信号のフォーマット	1920 x 1080i 59.94Hz	SDTV / HDTV / UHDTV 信号が入力されおり、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。	800 x 600p 60.00Hz	VESA 系解像度の信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。	NO SIGNAL	信号が入力されていません。
返信	入力信号の種類																	
Hxx	HDMI 信号が入力されています。xx は色深度で 24、30、36 のいずれかになります。																	
D	DVI 信号が入力されています。																	
N	信号が入力されていません。																	
返信例	映像入力信号のフォーマット																	
1920 x 1080i 59.94Hz	SDTV / HDTV / UHDTV 信号が入力されおり、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。																	
800 x 600p 60.00Hz	VESA 系解像度の信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。																	
NO SIGNAL	信号が入力されていません。																	

@GSS	入出カステータス (つづき)													
パラメータ	※3 音声入力信号のフォーマットは以下のように返信します。													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 277 719 311">返信例</th> <th data-bbox="724 277 1412 311">音声入力信号のフォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 318 719 389">LINEAR PCM 48kHz</td> <td data-bbox="724 318 1412 389">リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 396 719 546">COMPRESSED AUDIO</td> <td data-bbox="724 396 1412 546">圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS など) が入力されています (NJR-TW01UHD では詳細なフォーマット判別をしないので、圧縮音声が入力されている場合はすべて同じ表示になります。)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 553 719 591">NO AUDIO</td> <td data-bbox="724 553 1412 591">信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table>	返信例	音声入力信号のフォーマット	LINEAR PCM 48kHz	リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。	COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS など) が入力されています (NJR-TW01UHD では詳細なフォーマット判別をしないので、圧縮音声が入力されている場合はすべて同じ表示になります。)	NO AUDIO	信号が入力されていません。					
	返信例	音声入力信号のフォーマット												
	LINEAR PCM 48kHz	リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。												
	COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS など) が入力されています (NJR-TW01UHD では詳細なフォーマット判別をしないので、圧縮音声が入力されている場合はすべて同じ表示になります。)												
	NO AUDIO	信号が入力されていません。												
	※4 HDCP 入力の有無は以下のいずれかを返信します。													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 676 719 710">返信</th> <th data-bbox="724 676 1412 710">入力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 716 719 750">HDCP 1.4 ON</td> <td data-bbox="724 716 1412 750">HDCP 1.4 の付加された信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 757 719 790">HDCP 2.2 ON</td> <td data-bbox="724 757 1412 790">HDCP 2.2 の付加された信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 797 719 831">HDCP OFF</td> <td data-bbox="724 797 1412 831">HDCP の付加されていない信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 837 719 871">NO SIGNAL</td> <td data-bbox="724 837 1412 871">信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table>	返信	入力信号の種類	HDCP 1.4 ON	HDCP 1.4 の付加された信号が入力されています。	HDCP 2.2 ON	HDCP 2.2 の付加された信号が入力されています。	HDCP OFF	HDCP の付加されていない信号が入力されています。	NO SIGNAL	信号が入力されていません。			
	返信	入力信号の種類												
	HDCP 1.4 ON	HDCP 1.4 の付加された信号が入力されています。												
HDCP 2.2 ON	HDCP 2.2 の付加された信号が入力されています。													
HDCP OFF	HDCP の付加されていない信号が入力されています。													
NO SIGNAL	信号が入力されていません。													
※5 HDCP の認証状態は以下のいずれかを返信します。														
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 963 719 996">返信例</th> <th data-bbox="724 963 1412 996">HDCP の認証状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 1003 719 1072">HDCP 1.4 SUPPORT</td> <td data-bbox="724 1003 1412 1072">HDCP 1.4 で認証を行いました。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1079 719 1149">HDCP 2.2 SUPPORT</td> <td data-bbox="724 1079 1412 1149">HDCP 2.2 で認証を行いました。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1155 719 1263">HDCP NOT SUPPORT</td> <td data-bbox="724 1155 1412 1263">HDCP に対応していないシンク機器が接続されているか、入力信号に HDCP が付加されていないため認証していません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1270 719 1346">HDCP ERROR</td> <td data-bbox="724 1270 1412 1346">HDCP に対応したシンク機器が接続されていますが、認証に失敗しました。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1352 719 1429">HDCP CHECK NOW</td> <td data-bbox="724 1352 1412 1429">シンク機器の接続状態が変わった場合などに表示され、シンク機器の状態を確認中です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1435 719 1469">UNCONNECTED</td> <td data-bbox="724 1435 1412 1469">シンク機器が接続されていません。</td> </tr> </tbody> </table>	返信例	HDCP の認証状態	HDCP 1.4 SUPPORT	HDCP 1.4 で認証を行いました。	HDCP 2.2 SUPPORT	HDCP 2.2 で認証を行いました。	HDCP NOT SUPPORT	HDCP に対応していないシンク機器が接続されているか、入力信号に HDCP が付加されていないため認証していません。	HDCP ERROR	HDCP に対応したシンク機器が接続されていますが、認証に失敗しました。	HDCP CHECK NOW	シンク機器の接続状態が変わった場合などに表示され、シンク機器の状態を確認中です。	UNCONNECTED	シンク機器が接続されていません。
返信例	HDCP の認証状態													
HDCP 1.4 SUPPORT	HDCP 1.4 で認証を行いました。													
HDCP 2.2 SUPPORT	HDCP 2.2 で認証を行いました。													
HDCP NOT SUPPORT	HDCP に対応していないシンク機器が接続されているか、入力信号に HDCP が付加されていないため認証していません。													
HDCP ERROR	HDCP に対応したシンク機器が接続されていますが、認証に失敗しました。													
HDCP CHECK NOW	シンク機器の接続状態が変わった場合などに表示され、シンク機器の状態を確認中です。													
UNCONNECTED	シンク機器が接続されていません。													
※6 出力信号の種類は以下のいずれかを返信します。														
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 1554 528 1588">返信</th> <th data-bbox="533 1554 1412 1588">出力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 1594 528 1671">Hxx</td> <td data-bbox="533 1594 1412 1671">HDMI 信号を出力しています。xx は色深度で 24、30、36 のいずれかになります。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1677 528 1711">D</td> <td data-bbox="533 1677 1412 1711">DVI 信号を出力しています。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1718 528 1756">N</td> <td data-bbox="533 1718 1412 1756">シンク機器が接続されていません。</td> </tr> </tbody> </table>	返信	出力信号の種類	Hxx	HDMI 信号を出力しています。xx は色深度で 24、30、36 のいずれかになります。	D	DVI 信号を出力しています。	N	シンク機器が接続されていません。						
返信	出力信号の種類													
Hxx	HDMI 信号を出力しています。xx は色深度で 24、30、36 のいずれかになります。													
D	DVI 信号を出力しています。													
N	シンク機器が接続されていません。													

@GSS		入出カステータス (つづき)																																							
パラメータ		<p>※7 HDMI 出力コネクタの状態を、映像出力、音声出力の順に返信します。 エラーコードは以下のいずれかになります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>エラーコード</th> <th>映像出力の状態</th> <th>音声出力の状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>正常に映像が出力されています。</td> <td>正常に音声出力されています。</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>—</td> <td>@GAM / @SAM デジタル音声出力のミュート (P.24) が“ON”に設定されています。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td colspan="2">ソース機器が接続されていません。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>映像信号が入力されていません。</td> <td>音声信号が入力されていません。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td colspan="2">ソース機器の映像出力または音声出力がミュート状態です。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td colspan="2">HDCP の付加された信号が入力されているが、シンク機器がHDCPに対応していません。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td colspan="2">映像または音声の出力に必要な情報 (パケット) をソース機器が出力していません。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>NJR-TW01UHD または NJR-RW01UHD が対応していない信号が入力されています。</td> <td>圧縮音声が入力されているため音声出力することができません。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>—</td> <td>音声に対応していないシンク機器が接続されています。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td colspan="2">シンク機器が接続されていません。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td colspan="2">HDCP の認証中です。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td colspan="2">HDCP の認証に失敗しました。</td> </tr> </tbody> </table>	エラーコード	映像出力の状態	音声出力の状態	0	正常に映像が出力されています。	正常に音声出力されています。	1	—	@GAM / @SAM デジタル音声出力のミュート (P.24) が“ON”に設定されています。	2	ソース機器が接続されていません。		3	映像信号が入力されていません。	音声信号が入力されていません。	4	ソース機器の映像出力または音声出力がミュート状態です。		5	HDCP の付加された信号が入力されているが、シンク機器がHDCPに対応していません。		6	映像または音声の出力に必要な情報 (パケット) をソース機器が出力していません。		7	NJR-TW01UHD または NJR-RW01UHD が対応していない信号が入力されています。	圧縮音声が入力されているため音声出力することができません。	9	—	音声に対応していないシンク機器が接続されています。	B	シンク機器が接続されていません。		C	HDCP の認証中です。		D	HDCP の認証に失敗しました。	
エラーコード	映像出力の状態	音声出力の状態																																							
0	正常に映像が出力されています。	正常に音声出力されています。																																							
1	—	@GAM / @SAM デジタル音声出力のミュート (P.24) が“ON”に設定されています。																																							
2	ソース機器が接続されていません。																																								
3	映像信号が入力されていません。	音声信号が入力されていません。																																							
4	ソース機器の映像出力または音声出力がミュート状態です。																																								
5	HDCP の付加された信号が入力されているが、シンク機器がHDCPに対応していません。																																								
6	映像または音声の出力に必要な情報 (パケット) をソース機器が出力していません。																																								
7	NJR-TW01UHD または NJR-RW01UHD が対応していない信号が入力されています。	圧縮音声が入力されているため音声出力することができません。																																							
9	—	音声に対応していないシンク機器が接続されています。																																							
B	シンク機器が接続されていません。																																								
C	HDCP の認証中です。																																								
D	HDCP の認証に失敗しました。																																								
取得例	送信 返信	@GSS,1,1,1,0 ☑ @GSS,1,1,1,0,H30,1920 x 1080p 60Hz,LINEAR PCM 48kHz, HDCP 1.4 ON ☑																																							
	説明	<p>NJR-TW01UHD のチャンネル 1 の全入カステータスを取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力信号の種類：30-BIT COLOR の HDMI 信号 ・映像入力信号：1080p 60Hz ・音声入力信号：LINEAR PCM 48kHz ・HDCP：1.4 																																							
取得例	送信 返信	@GSS,2,1,1,10 ☑ @GSS,2,1,1,10,HDCP 1.4 SUPPORT, H30,00 ☑																																							
	説明	<p>NJR-RW01UHD のチャンネル 1 の全出カステータスを取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HDCP の認証：HDCP 1.4 で認証を行なった ・出力信号の種類：30-BIT COLOR の HDMI 信号 ・エラーコード：映像・音声ともに正常に出力されている。 																																							
備考		—																																							

@GES		モニタ EDID 情報																
取得	送信	@GES, device, ch, port, mode [↵]																
	返信	@GES, device, ch, port, mode, status_1 (, status_2, status_3···) [↵]																
パラメータ		<p>device : 機種種別 1 = NJR-TW01UHD, 2 = NJR-RW01UHD</p> <p>ch : 出力チャンネル 1 = 出力チャンネル 1 ~ 512 = 出力チャンネル 512 LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。</p> <p>port : 出力コネクタ NJR-TW01UHD の場合 : 2 = HDMI 出力コネクタ NJR-RW01UHD の場合 : 1 = HDMI 出力コネクタ</p> <p>mode : 取得するステータス 0 = 1~4 のすべて, 1 = モニタ名^{※1}, 2 = 解像度とピクセルクロック^{※2}, 3 = HDMI 対応状況およびサンプリング構造と色深度^{※3}, 4 = 音声の対応状況と、サンプリング周波数、ビット長、チャンネル数および圧縮音声の対応状況^{※4}</p> <p>status_1 ~ status_4 : ステータス</p> <p>※1 モニタ名は以下のように返信します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>モニタ名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MSD-5402</td> <td>“MSD-5402” という名前のシンク機器が接続されています。</td> </tr> <tr> <td>UNCONNECTED</td> <td>シンク機器が接続されていません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2 解像度とピクセルクロックは以下のように返信します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>解像度／ピクセルクロック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1920x1080 148.50MHz</td> <td>解像度は 1920x1080、ピクセルクロックは 148.50MHz に対応したシンク機器が接続されています。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※3 HDMI 対応状況およびサンプリング構造と色深度は以下のように返信します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信</th> <th>入力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DVI</td> <td>HDMI 信号に対応していないシンク機器が接続されています。</td> </tr> <tr> <td>HDMI- RGB/YCbCr422/ YCbCr444-24/30BIT COLOR</td> <td>HDMI 信号に対応したシンク機器が接続されており、対応しているサンプリング構造 (RGB, YCbCr 4:2:2, YCbCr 4:4:4, YCbCr 4:2:0 のうち対応しているものを / で区切って返信) - 色深度 (24, 30, 36 のうち対応しているものを / で区切って返信) の順で返信します。</td> </tr> </tbody> </table>	返信例	モニタ名	MSD-5402	“MSD-5402” という名前のシンク機器が接続されています。	UNCONNECTED	シンク機器が接続されていません。	返信例	解像度／ピクセルクロック	1920x1080 148.50MHz	解像度は 1920x1080、ピクセルクロックは 148.50MHz に対応したシンク機器が接続されています。	返信	入力信号の種類	DVI	HDMI 信号に対応していないシンク機器が接続されています。	HDMI- RGB/YCbCr422/ YCbCr444-24/30BIT COLOR	HDMI 信号に対応したシンク機器が接続されており、対応しているサンプリング構造 (RGB, YCbCr 4:2:2, YCbCr 4:4:4, YCbCr 4:2:0 のうち対応しているものを / で区切って返信) - 色深度 (24, 30, 36 のうち対応しているものを / で区切って返信) の順で返信します。
返信例	モニタ名																	
MSD-5402	“MSD-5402” という名前のシンク機器が接続されています。																	
UNCONNECTED	シンク機器が接続されていません。																	
返信例	解像度／ピクセルクロック																	
1920x1080 148.50MHz	解像度は 1920x1080、ピクセルクロックは 148.50MHz に対応したシンク機器が接続されています。																	
返信	入力信号の種類																	
DVI	HDMI 信号に対応していないシンク機器が接続されています。																	
HDMI- RGB/YCbCr422/ YCbCr444-24/30BIT COLOR	HDMI 信号に対応したシンク機器が接続されており、対応しているサンプリング構造 (RGB, YCbCr 4:2:2, YCbCr 4:4:4, YCbCr 4:2:0 のうち対応しているものを / で区切って返信) - 色深度 (24, 30, 36 のうち対応しているものを / で区切って返信) の順で返信します。																	

@GES		モニタ EDID 情報 (つづき)						
パラメータ		<p>※4 音声の対応状況と、サンプリング周波数、ビット長、チャンネル数および圧縮音声の対応状況は以下のように返信します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信</th> <th>入力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AUDIO NOT SUPPORT</td> <td>音声信号に対応していないシンク機器が接続されています。</td> </tr> <tr> <td>LINEAR PCM-32/44.1/48kHz-16/20/24BIT-8CHANNEL</td> <td>音声信号に対応したシンク機器が接続されており、対応しているサンプリング周波数 (32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 のうち対応しているものを / で区切って返信) - ビット数 (16, 20, 24 のうち対応しているものを / で区切って返信) - チャンネル数 (1 ~ 8 のいずれか) - 圧縮音声に対応していれば “COMPRESSED AUDIO SUPPORT” の順で返信します。</td> </tr> </tbody> </table>	返信	入力信号の種類	AUDIO NOT SUPPORT	音声信号に対応していないシンク機器が接続されています。	LINEAR PCM-32/44.1/48kHz-16/20/24BIT-8CHANNEL	音声信号に対応したシンク機器が接続されており、対応しているサンプリング周波数 (32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 のうち対応しているものを / で区切って返信) - ビット数 (16, 20, 24 のうち対応しているものを / で区切って返信) - チャンネル数 (1 ~ 8 のいずれか) - 圧縮音声に対応していれば “COMPRESSED AUDIO SUPPORT” の順で返信します。
返信	入力信号の種類							
AUDIO NOT SUPPORT	音声信号に対応していないシンク機器が接続されています。							
LINEAR PCM-32/44.1/48kHz-16/20/24BIT-8CHANNEL	音声信号に対応したシンク機器が接続されており、対応しているサンプリング周波数 (32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 のうち対応しているものを / で区切って返信) - ビット数 (16, 20, 24 のうち対応しているものを / で区切って返信) - チャンネル数 (1 ~ 8 のいずれか) - 圧縮音声に対応していれば “COMPRESSED AUDIO SUPPORT” の順で返信します。							
取得例	送信 @GES,2,1,1,0 <input type="checkbox"/> 返信 @GES,2,1,1,0,MSD-702,1920x1080 148.50MHz,DVI,AUDIO NOT SUPPORT <input type="checkbox"/> 説明 NJR-RW01UHD のチャンネル 1 に接続されたシンク機器の EDID 情報を取得。 <ul style="list-style-type: none"> ・ モニタ名 : MSD-702 ・ 解像度 : 1920x1080 ・ ピクセルクロック : 148.50MHz ・ HDMI : 非対応 ・ 音声 : 非対応 							
備考		—						

@GIV		バージョン情報
取得	送信	@GIV, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>
	返信	@GIV, device, ch, reserved, id, ver <input type="checkbox"/>
パラメータ		device : 機種種別 1 = NJR-TW01UHD, 2 = NJR-RW01UHD
		ch : チャンネル 1 = チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 512 LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。
		reserved : 予約 “1” 固定です。
		id : 製品型番
		ver : ファームウェアバージョン
取得例	送信	@GIV,1,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GIV,1,1,1,NJR-TW01UHD,1.00 <input type="checkbox"/>
	説明	NJR-TW01UHD のチャンネル 1 の製品情報を取得。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 製品型番 : NJR-TW01UHD ・ ファームウェアバージョン : 1.00
備考		—

NJR-TW01UHD / RW01UHD 取扱説明書

<コマンドガイド>

Ver.1.0.1

発行日 2019年07月11日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第2ビル5階
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル3階
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

Eメールアドレス info@idk.co.jp **ホームページ** <http://www.idk.co.jp/>